



佐世保市立黒島小学校

住 所：佐世保市黒島町 3184 番地

校 長：惣田 正宏

児童数：10名

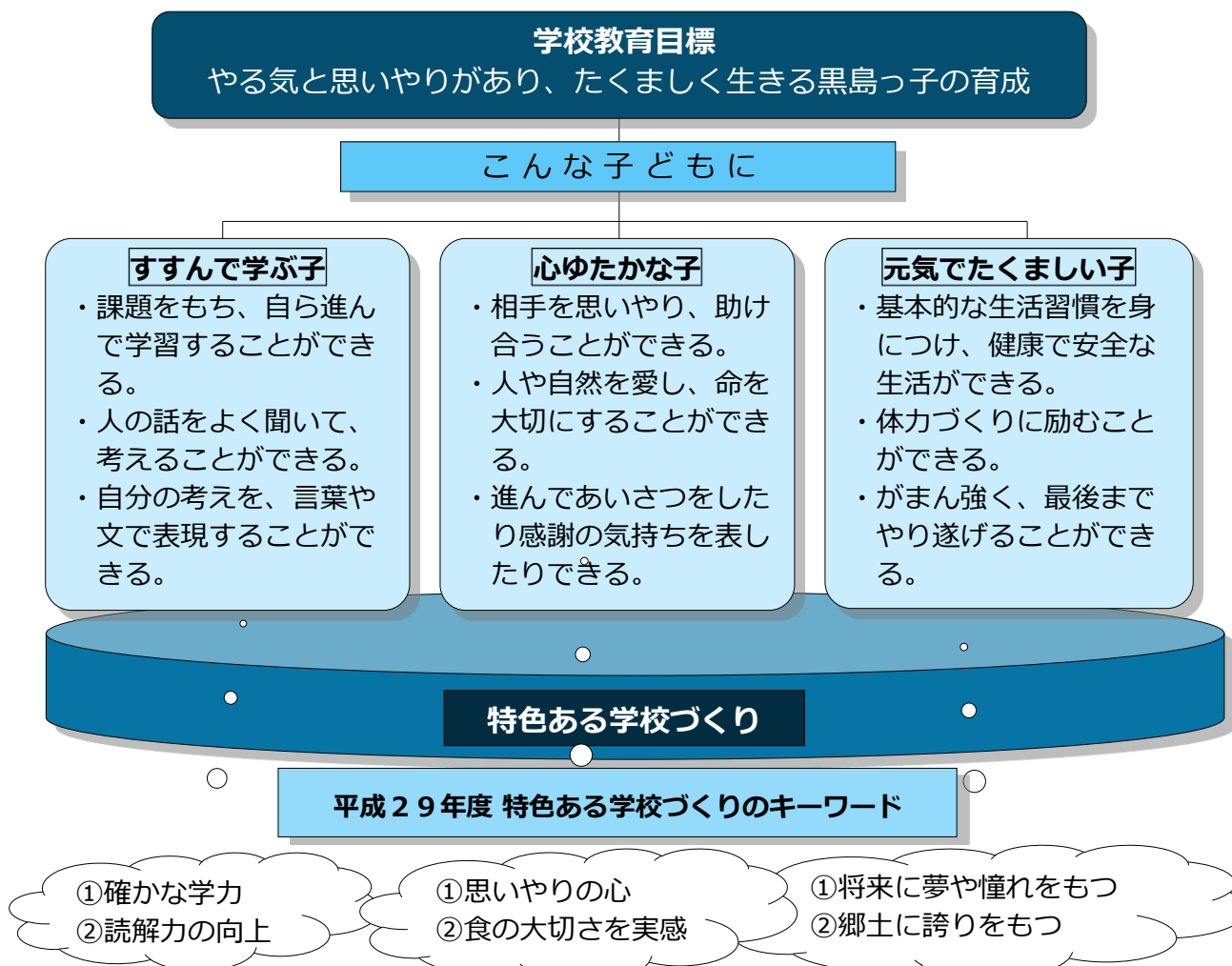
学級数：3学級

(平成29年5月1日現在)

HP: <http://www.city.sasebo.ed.jp/es-kuroshima/>

1 目 的

学校教育目標 「やる気と思いやりがありたくましく生きる黒島っ子の育成」に基づいた、本校のめざす児童像「**すすんで学ぶ子 心ゆたかな子 元気でたくましい子**」の具現化のため、特色ある学校づくりを推進します。



特色ある教育活動を具現化する際、めざす3つの児童像に基づき、児童や学校の実態、地域性などに加え、併設校としての在り方を考えました。

郷土黒島に誇りをもち、たくましく生きる黒島っ子の育成をめざしています。

2 実践内容

(1) すすんで学ぶ子

① 確かな学力を身に付けた子どもを育む

〔校内研修〕

次年度から義務教育学校になることを踏まえ、小・中学校共通の研究テーマで実践しました。全国学力・学習状況調査や県学力調査、市学力調査等の各種学力調査を検証軸としたPDCAサイクルを確立し校内研修の充実を図っています。職員は早期に結果の分析を行うことで、なぜこの問題が解けなかったのか、指導にどのような手立てが必要なのかを意識して指導に当たりました。

また、研究授業は小・中学校合同で行う機会を設け、小・中学校職員が合同で研究協議を行い、それぞれの視点から研修の効果を高めています。



＜研究授業＞



＜はげみ学習＞

〔はげみ学習・すくすくタイム〕

算数の基礎的・基本的な力の定着を図るための時間として朝の活動に「はげみ学習」を設定しています。今年度は特に、学力調査の個別結果に応じた課題や県センター活用教材に積極的に取り組みました。

また、国語の基礎的な力を高めたり表現力を磨く場として「すくすくタイム」を設定したりしています。

昨年度の本事業で得た業者のWEBライブラリによる問題集を活用しました。

② 読解力の向上を目指して

〔読書の質の向上〕

学力向上へ取り組む中で、語彙力を高めることや多様な表現に親しむことの必要性を感じ、読書の質の向上に力を入れました。図書集会は、児童が、互いに自分の読んだ本の紹介をし合う会です。確かな読みに加え、相手に伝える表現の力も求められます。異学年グループで行う交流会は価値ある取組になりました。

また、小中併設の良さを生かして、中学生による読み聞かせを実施しました。中学生が小学生の興味関心のある本を選んで練習して聞かせることで、読書への興味・関心が高まりました。



＜図書集会＞



＜中学生による読み聞かせ＞

(2) 心ゆたかな子

① 思いやりの心を持った子どもを育む



<相西小全校朝会に参加>

〔大規模校訪問〕

全校児童で相浦西小学校を訪問しました。本事業も3年目となりました。各学級では大人数の友達と一緒に授業を受け、多くの意見や考えに触れる、普段はできない素晴らしい経験になりました。

授業、給食、休み時間など普段自分たちが過ごしている黒島小学校とは異なる大人数の学校生活を目の当たりにすることで、驚きと共に多くの人との関わり方について考える大変よい機会になりました。

今後も交流を続けたいと考えています。

② 「食」の大切さを実感する子どもを育む

〔かんころ作り・餅つき〕

学校農園にサツマイモの苗を植えて自分たちで育て、収穫しました。収穫したサツマイモを使ってかんころ作りを行いました。芋苗植えとかんころ作りの際には、地域の方にゲストティーチャーとして来校いただき、指導を受けました。

かんころができた後は、保護者・地域のみなさんとともにかんころ餅作りを体験しました。餅つきの際には保護者全家庭と地域の方も参加していただきました。

一連の学びの中で、地域の食への関心を高めたり地域や保護者の方へ感謝の気持ちをもったりすることができました。



<かんころ作り>



<餅つき>

(3) 元気でたくましい子

① 将来に夢やあこがれをもつ子を育む



<長崎短大学生と交流・発表>

〔長崎短期大学との交流・黒島調べ〕

長崎短期大学の学生との交流も、本事業のおかげで3年目となりました。今年度は学生が2回来校し、交流を深めました。また、黒島天主堂やカトリック共同墓地に学生を案内し、大勢の大学生の前で黒島について調べたことを発表しました。

この学習をさらに発展させ、黒島に来ていただいた方向けに、お勧め観光コースを考え、パソコンを使ってパンフレットにまとめ、様々なところに配付することができました。

② 郷土に誇りを持つ子どもを育む

〔漁業体験〕

4～6年生が、漁業体験を行いました。保護者の方が漁師であったり、日頃から釣りをしたりしている子どももいるのですが、ここでは実際に漁業について調べ、漁師さんの仕事について改めてそのやり甲斐やご苦労などのお話を伺いました。

また、その日の午後には寿司職人を招き、釣った魚をさばいて、寿司にする実演を見学しました。

地元の魚がどのように生かされるのか、職人の技を見せていただくと共に、黒島の魚を生かした職業についても学習しました。



＜漁業体験＞



＜寿司職人による実演＞



＜周知の幟(のぼり)＞



＜新校章＞

〔義務教育学校に係る周知〕

平成30年度から黒島小学校と黒島中学校が義務教育学校になります。義務教育学校という新しい概念については、多くの方が知らないという実情でした。

そこで、保護者だけではなく地元の住民の方々に対して、様々な情報発信を行うことが非常に重要になってきました。

そのため、地元住民の方に知っていただくために、チラシを作成して黒島町内の全家庭に配付したり、幟(のぼり)を設置したりするようにしました。

新しい校章を児童生徒に募集し、チラシにも子どもの新校章への思いをチラシにも掲載しました。子ども達も、自分たち児童生徒の手作りの校章ということで、新しい母校である黒島小中学校（愛称名：黒島はまゆう学園）や地元黒島への誇りを持つきっかけになりました。